

学位授与申請資格・学位審査基準

<博士前期課程（生命機能化学専攻）>

（1）学位授与申請資格

当該専攻の博士前期課程の所定の単位を修得あるいは修得予定であること。

（2）学位論文審査手続き

① 審査手続き

学位論文の審査は、第1次審査（審査委員会委員による事前審査）と第2次審査（修士論文発表会後の審査委員会委員および専攻教授会の構成員による審査）を経て、研究科教授会から審議委任された研究科会議において学位授与の可否を決定する。

② 第1次審査

審査委員会委員による論文の精査の後、申請者との面接により内容について審査する。必要があるときは、申請者に論文の修正や追加資料を提出させることができる。

③ 第2次審査

審査委員会委員の出席する公開の修士論文発表会を開き、審査委員会委員および専攻教授会議の構成員により合否を判断する。

（3）学位論文審査の審査項目と評定基準

① 審査項目

第1次審査は、以下の項目で審査する。

- (1) 学術的な重要性・妥当性
- (2) 研究計画・研究方法の妥当性
- (3) 研究の独創性
- (4) 修士論文の構成・体裁

第2次審査は、上記の(1)～(4)に加え、以下の項目も審査する。

- (5) プレゼンテーションの能力

② 評定基準

(1) 第1次審査

審査委員会委員全員がすべての審査項目において基準に達すると評価した場合を可とする。

(2) 第2次審査

審査委員会委員および専攻教員会議の構成員が合否を判断する。出席者の3分の2以上が可と評価した場合を合とする。